# 2018年1月28日(4週目) 主日礼拝

# 「サミットの癒し」(使徒 14:8-18)

21 世紀には、科学も医学も発展をしているが、心や精神が病んでいる人がたくさんいる。病んでいる人を癒す方法として、宗教団体は色々な癒しをテーマに人を集めている。しかし、それは本当の癒しではないので、一つの病がいやされても、その後に 10 の病が起こることもある。真の神様以外には癒す方はいない。本当の神様を知らずに間違った癒しの方法で癒しをしようとするので問題は続くようになる。出 15:26 には、「わたしは主、あなたをいやす者である」と言っている。癒すことが出来るのは、人間を創造された神様、イエス・キリストである。神様は私たちが癒され、私たち自身も神様の力で癒すことを願っておられる。

# 1.サミットの癒し

#### ▲サミットの癒しが必要。

- 1)使徒 14:8(ルステラでのこと であるが、ある足のきかない 人がすわっていた。彼は生ま れつき足のなえた人で、歩い たことがなかった)
- (1)パウロとバルナバがルス テラ(小アジア)に向かった。
- (2)ルステラに生まれつき 足の障害を持った者がいた。
- (3)誰でも年が経過をするにつれて生まれながらの問題が現される。
- -最近では問題が幼い頃から 現れるようになる
- (精神的な問題・病等)
- (4)聖書では人間が霊を持っており霊的なことから問題が来ると言っている
- ①霊から癒さなければ。
- ②本来は神様と共に生きる ように創造された人間が神様 から離れた。
- ③偶像崇拝の根深い国は病を 持っている人が多い。
- ーインドの精神的な問題、

## 身体的な異常

- -日本の偶像崇拝による精神な問題・障害を持っている方 ④聖書だけが偶像崇拝をして はならないと言っている。
- ⑤これらの問題は神様でなければ解決を出来ない。

# 2.癒しの方法

- ▲正しい癒しの方法は何であるのかーただキリストのみである。
- 1)使徒 14:9-10(この人がパウロの話すことに耳を傾けていた。パウロは彼に目を留め、いやされる信仰があるのを見て大声で、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と言った。すると彼は飛び上がって、歩き出した)
- (1)足のなえたの方の問題は霊的な問題であるーキリストの力によって癒しの奇跡が起こった
- (2)人間の問題は神様から霊が離れて、罪を犯して、サタンに捕えられていることから起こる問題である。
- (3)神様がキリストを遣わし悪魔の頭を踏み砕かれ、罪を赦し、神様に出会える道を開いて下さった。 ーイエス様はそれらのことを成し遂げた証拠として復活をされた。
- (4)キリストを遣わして十字架にかかり復活をされたことを信じるべき-足なえの人はキリストを信じた
- (5)人々の霊、精神、肉体もイエス・キリストを信じた時に救われ、癒されることが出来る。
- 2)ローマ 10:17(信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。)
- (1)サミットの癒しとして御言葉を聞いて信じる時に癒される。
- (2)ヘブル 4:12(神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。)
- ①御言葉に集中をして聞く時に時に力づけられる。
- ②世の中は間違った文化的な話し(進化論)・自分で一生懸命しなければというのが刻印をされてる(宗教等)。
- ③御言葉を深く聞くべきーキリストが問題を完了をしたので思い煩いを主に任せる。
- ④刻印が出来るまで聞いて信じていく必要がある-その時に癒され、強い神様の人となることが出来る。
- (3)黙示 2:7(耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者に、わたしは神のパラダイスにあるいのちの木の実を食べさせよう。」』)
- ・耳のある者は講壇の御言葉に集中をする一正しく癒されるようになる。
- 3)使徒 1:8(しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、 ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」)
  - (1)聖霊の力を信じて主に向けて祈れば聖霊が働く-聖霊が働き、5つの力(霊力、知力、体力、人力、経済力)
  - (2)エペソ6:18(すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。)
  - (1)サタンに勝利する秘訣は御霊によって祈る一起きた時、寝る前に一分でもいいので祈る・早天への出席 (2)祈るほどに健康が回復をされていくようになる。
- 4)Ⅱテモ 3:16-17(聖書はすべて、神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。 それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです)
- (1)全ての働きのために十分に整えられた者になることが真の健康である。
- (2)「すべての良い働き」-Iペテ 2:9(しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です/すばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです)
- ①王の務め: 神様の子どもは悪魔に戦って勝利をするものである。騙されずに信仰を持て。
- ②祭司の務め : 主日礼拝に成功をする・聖徒を赦すことである・相手を配慮をして自分を犠牲にする。
- ③預言者の務め:福音を宣べ伝える働きをする。
- (3)ローマ 16 章の人々は命を惜しまなかった人である。
- (4)大きく用いられる者は主の為に献身をする者-信仰がある時に献身を出来て献げた分だけ自分のものとなる。
- (5)日本と世界を生かす教会-悪魔と戦う教会・海外宣教-宣教団体を造り上げ命を懸けて宣教をする。

## 3. 癒しのサミット

- 1)使徒 14:12(バルナバをゼウス と呼び)
  - (1)パウロが立ち上がれと言った時に足なえは立ち上がるーキリストの力で癒した。
  - (2)群衆はバルナバとパウロを神格化した。
- (3)パウロは自分は神ではないと言った。
- ーパウロはただイエスのみを 信じるように話した。
- 2) II コリ 4:5(私たちは自分自身 を宣べ伝えるのではなく、主 なるキリスト・イエスを宣べ 伝えます)
  - (1)パウロは大胆でありながらへりくだっていた。
  - (2)福音が私たちを癒す。
  - (3)真に礼拝に成功をする。
  - (4)御言葉で刻印を変える。
  - (5)霊が癒された人は感謝が出て来た人である。
  - ①救いに対して基準を持っている人は全て感謝に出来る。
  - ②クロスビーは障害があって も感謝を持っていた。
- ▲結論-Ⅲヨハ1:2(愛する者 よ。あなたが、たましいに幸 いを得ているようにすべての 点でも幸いを得、また健康で あるように祈ります。)
  - ①いつも感謝をして魂に幸い を得て全ての点で幸いを得る
  - ②正しい癒しが成される。
  - ③サミットの癒しで神様に 栄光を返すように。

## 区域地教会(2018年1月28日~2月3日)

#### 【替美】「イエスわが王よ」

- 1)イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ 私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2)イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

## 【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。 主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に つけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父 なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖 霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信 ず。アーメン

【メッセージ】 「サミットの癒し」(使徒 14:8-18)

【讃美】 252「うたえうれしく」

#### 【祈り】

- ①教会の祈りの課題
- ・「正しい癒し」「サミットの祝福」(本部元旦メッセージ)の成就のために。
- ・「日本と世界を生かす教会」(使徒 11:19-30)(福音宣教教会元旦メッセージ)の 成就のために。
- ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
- ・御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
- ②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
- ③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

## 【フォーラム】

# 【祈り】

## 【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

講壇メッセージを通した御言葉・祈り・伝道		
御言葉黙想	使徒 14:9-10(この人がパウロの話すことに耳を傾けていた。パウロは 彼に目を留め、いやされる信仰があるのを見て大声で、「自分の足でまっ すぐに立ちなさい」と言った。すると彼は飛び上がって、歩き出した)	
祈り	天の父なる神様。あなたの恵みに感謝を捧げます。人間の問題は 霊の問題から始まっています。正しく癒されることが出来ますように。 イエスキリストの十字架と復活を信じ、講壇の御言葉を深く聞き続け、 日々の生活の中で祈りに集中をすることが出来ますように。また、 主のための働きの為に十分に整えられた者として、王、祭司、預言者 の務めを果たす者となれますように。そして大胆にイエスキリストを 宣べ伝える者となることが出来ますように。このお祈りをイエス・ キリストの名前によってお祈りをします。アーメン	
伝道		
今週の	・御言葉の黙想・暗唱・書き起こし	
ミッション	・霊的な呼吸の祈り	
呼吸の祈り		

	息を吐き出す時	息を吸い込む時
福音	私の悩みと心配を主に委ねます	イエス・キリストは全ての問題の解決者です
信仰	私の不信仰を取り去って下さい	私に御言葉を信じる信仰を下さい
御言葉	私の罪を許して下さい	私に御言葉に従う信仰を与えてください
霊	私を邪魔するサタンの力は	私に聖霊充満を与えて下さい
	イエス・キリストの名で打ち砕かれよ	
感謝	私の過去の傷を全て捨てます	全ての事を感謝させて下さい

# 福音宣教教会

主管牧師:御国イザヤ

名古屋市中区栄 5 丁目 23-8/tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00